

平成27年11月9日

南海電気鉄道株式会社
和歌山県九度山町

九度山駅の真田装飾が11月14日(土)に完成!

来年1月24日(日)からは土休日などに赤備え仕様のバスを運行

南海電鉄(社長:遠北 光彦)では、高野線山岳区間の活性化策として「こうや花鉄道」プロジェクト※を平成19年から実施しています。

今年11月1日(日)には、来年1月からのNHK大河ドラマ「真田丸」放映を契機に、真田幸村蟄居の地である九度山をさらに盛り上げるため、和歌山県伊都郡九度山町(町長:岡本 章)協力のもと、「南海・真田赤備え列車」の運行を開始しました。

そしてこのたび、11月14日(土)に、九度山町の玄関口である九度山駅の装飾が完成します。駅舎やホームを落ち着いた風合いに塗装するとともに、真田の「六文銭」をあしらった暖簾や幕を掲出し、真田ゆかりの地の特別感を演出します。

さらに、平成28年1月24日(日)からは、土休日を中心に町内をめぐる巡回バスを運行します。

詳細は別紙のとおりです。



デザインはイメージです。

※「こうや花鉄道」プロジェクトについて

当社では「こうや花鉄道」プロジェクトとして、高野山という目的地に加え、「そこへ向かう道中」においても鉄道の魅力を作り出し、高野山旅行の「楽しさ」や「期待感」の創出に取り組んでいます。これまでに、駅の「花屏風」設置、橋本～極楽橋駅間での展望デッキ付き列車「天空」の定期運行、高野下駅への「南海思い出ミュージアム」の設置や駅名表示板の刷新などを実施してきました。また、九度山駅においても「九度山真田花壇」を設置するなど、沿線の活性化に貢献しています。

(別紙)

1. 九度山駅舎の装飾について

九度山町の玄関口・九度山駅を、真田赤備えや六文銭などでデザイン装飾を行います。

- (1) 完成日：平成27年11月14日(土)
- (2) デザイン：九度山駅の駅舎やホームを、落ち着いた風合いに塗装するとともに、真田の「六文銭」をあしらった暖簾や幕を掲出し、真田ゆかりの地の特別感を演出します。

2. 九度山町内巡回バス「真田赤備えバス」の運行について

九度山町内の観光に便利な巡回バスを運行します。

この巡回バスには、真田赤備え列車と同様のデザイン装飾を行い、運行します。

- (1) 運行：南海りんかんバス株式会社(本社：和歌山県橋本市)
- (2) 区間：九度山駅前～九度山町役場～真田庵前～道の駅柿の郷くどやま
- (3) 期間：平成28年1月24日(日)～平成29年1月7日(土)のうち
土日祝および特定日(計123日間)
※特定日：5月2、6日、8月12、15、16日、12月29、30日、1月3日
- (4) 運賃：1乗車につき 大人100円、小児50円
- (5) 時刻：

九度山駅前発			道の駅柿の郷くどやま発		
時	分		時	分	
9	27	59	9	43	
10	48		10	32	
11	33		11	17	52
12	8	51	12	35	
13	23	55	13	7	39
14	41		14	25	
15	25		15	9	57
16	13	50	16	29	
			17	6	



真田赤備えバス(イメージ)

◆九度山町について

和歌山県伊都郡九度山町は、南は高野山、北は紀ノ川に囲まれた県北部に位置する町です。町内の慈尊院から高野山へは180本の町石が続く高野山町石道(ちょういしみち・世界遺産)が伸び、古くから高野参詣により栄えてきました。

また、戦国時代に活躍した武将・真田幸村の隠れ里としても知られています。